

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	△ 21.2 p	△ 36.8 p ↘
不動産流通業(住宅地)	△ 36.1 p	△ 19.4 p ↘
ビル賃貸業	10.5 p	△ 21.5 p ↘

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	△ 50.0 p	△ 48.4 p ↘
不動産流通業(住宅地)	△ 65.7 p	△ 54.3 p ↘
ビル賃貸業	△ 50.0 p	△ 42.0 p ↘

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 36.8p 悪化し ▲21.2p。29期ぶりのマイナス水準。

不動産流通業は前回から 19.4p 悪化し ▲36.1p。4期連続のマイナス水準。

ビル賃貸業は前回から 21.5p 悪化し 10.5p。24期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業およびビル賃貸業でいずれも悪化。

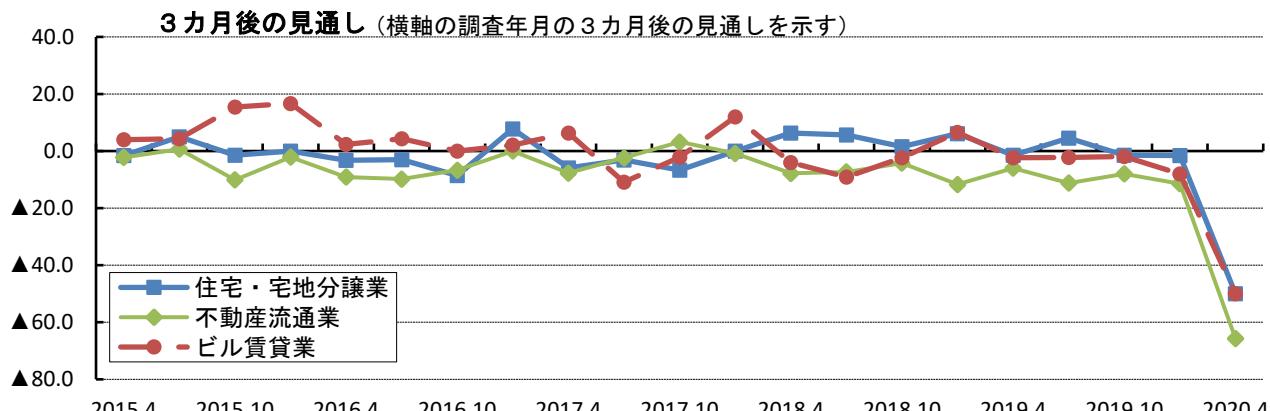
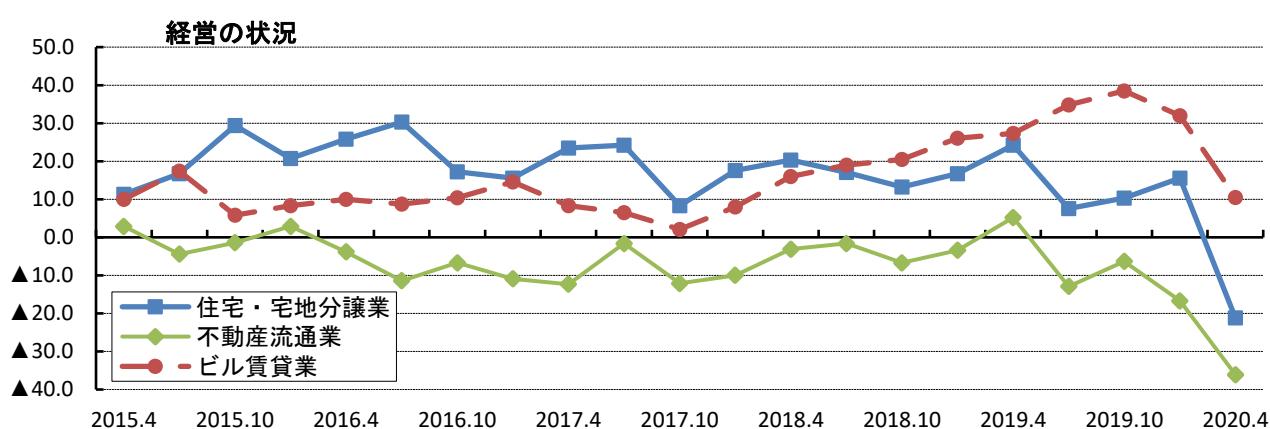
*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。

調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = {（「良い」×2「やや良い」）-（「悪い」×2「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

*3 3ヶ月後の見通し = {（「良くなる」×2「やや良くなる」）-（「悪くなる」×2「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100

（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）

**不動産業業況等調査結果(pdf)ダウンロード**

資料:一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第91号「不動産業業況等調査」